


（冬の水辺の生き物調べと森を豊かにする手入れ）

環境アドバイザー 足立 圭子

対象 おおたかの森トラスト・こどもエコクラブ 35 人 所要時間  4 時間

場所 所沢市おおたかの森の再生地 実施時期 令和 3 年 2 月 21 日

概要

スミレの咲く森を育てよう。水辺のアカガエルの卵を観察してから始めました。活動が密にならないように 3 班に分けて行う。

① シラカシを伐る②ネズミモチ、ヤツデを切る③ササを刈り取る
切り出した植物を種類に分けて確認する。

プログラムの ねらい

スミレの花は、春先に太陽の日がたくさん当たることが重要です。スミレを頼って生きている昆虫のためにも手入れが必要です。大きくなったシラカシやネズミモチ、ヤスデ等の常緑樹と足元にたくさん増えたササを刈ると足元が明るくなり、来年には花が咲くようになります。植物と昆虫とのつながりを知る。

プログラムの内容

1 活動内容と班分け（10分）

全体を 3 つに分け、植物の葉を覚える。3 班が順番に切る樹木が変わるので葉をよく確認する。

2 担当する植物と道具の確認（30分）

シラカシやネズミモチ、ヤツデなどはノコギリと太枝切りバサミで伐りだす。

ササは園芸用ハサミで根元から切る。切り出したものは分けて並べる。30 分ごとに移動し改めて植物の説明を受け、作業を再開する。

切り出した植物を並べてみると、シラカシが多く、太く背が高いので、最初は苦戦をしている子もいましたが、慣れてくると低学年や幼稚園児も上手に切れるようになり、ケガをすることもなく終了。

食後は、中学生が先頭になり、所沢市長さんに「くぬぎ山を守ってくれてありがとう」の寄せ書きづくりと所沢市広報の取材を受けています。



受講者の反応

シラカシは大きくて切るのに大変でしたが上手にノコギリを使えました。水辺にはアカガエルがたくさんいたのでびっくりした。卵がたくさんあって、オタマジャクシになっているものもありました。明るくなったのでスミレがたくさん咲いてくれるのが楽しみです。太枝切りバサミも上手に使えるようになったのでヤスデは簡単に切れました。